

## 12月定例教育委員会議事録

1 日 時 平成24年12月19日(水) 午前9時30分から午前11時5分

2 場 所 宗像市役所本館3階・301会議室

3 出席委員 委員長 井上裕之

委員 川上美子

委員 平田良枝

委員 中岡政剛

教育長 久芳昭文

4 その他の出席者 教育部長灘谷辰生、市民協働・環境部長福崎常喜、子ども部長柴田祐治、教育部理事兼主幹指導主事後藤正弘、教育政策課長安部武彦、教育政策課指導主事羽田野崇、教育政策課指導主事西島潔、教育政策課指導主事正路澄代、学校管理課長占部晃、子ども育成課長中野万由美、図書課長星野忠士、市民活動推進課長磯部輝美、郷土文化学習交流課長清水比呂之、経営企画部世界遺産登録推進室長岩佐芳弘、学校管理課管理係長竹下俊史、図書課市民図書館係長内野美佐子、教育政策課主幹兼政策係長岡田光晴、教育政策課政策係主任主事許斐知加

※ 傍聴 なし

5 前回(11/13臨時・11/20定例)議事録の承認(資料1)《承認》

### 6 議案

① 議案第36号 宗像市民図書館条例施行規則の一部を改正する規則(案)について

(資料2)《承認》

【久芳教育長】 資料2参照。議事録なし。(▲18秒)

【図書課長】 資料2参照。議事録なし。(▲48秒)

【井上委員長】 ご意見ご質問がなければ、議案第36号につきまして、承認いただけますか。

【各委員】 はい。

### 7 協議事項

① 平成25年度教育施策方針大綱(案)について(資料3)

② 平成25年度事務事業及び予算要求概要について(資料4)

【井上委員長】 協議事項1、2は関連しておりますので、併せて協議を行いたいと思いますが、

よろしいですか。

【各 委 員】 はい。

【教育政策課長】 本日、資料3の差替え分をお配りしておりますので、事前配布資料との差替えをお願いします。また、23ページの中ほどに「2 教育施策の概要」とありますが、「第2章 教育施策の概要」に訂正いただきますようお願いします。

以下、資料3、4参照。議事録なし。(▲11分)

【井上委員長】 ご意見ご質問がございますか。

【中岡委員】 宗像市の特徴として大島、地島などの離島を抱えていることがあげられますので、生きる力の中の「自立」をしっかりと打ち出されたのは良いことではないかと思えます。小中一貫教育につきましては、地域・家庭との連携が非常に重要になってきますので、第2章(1)①の「ウ 小中一貫教育を支える家庭・地域へのアピールの充実」をもう少しふくらませていただきたいです。アピールの充実だけではなく、学校あるいは教育委員会から家庭・地域で積極的に取り組んでいただきたいことを家庭や地域の教育力を高めるための施策として具体的に打ち出していかなければならないのではないかと思います。

【井上委員長】 この項目に追記するということですか。

【中岡委員】 項目はこのままで良いのですが、中身を考えていただきたいという要望でございます。

【井上委員長】 今回提示いただいているのは大綱案ですが、施政方針に中岡委員が言われた内容は入りますか。

【教育政策課長】 大綱案では施政方針の柱となる部分をあげております。今回ご協議いただき、出された意見等を踏まえまして、今後具体的に施政方針の内容を組み立てます。

【中岡委員】 大綱は考え方の根本になりますので、細かい部分はこれから出てくるのだろうと思っています。今後、コミュニティスクール的な要素が強くと出てくると思いますので、現在配置している学力向上支援教員や小中一貫教育支援教員だけではなく、家庭・地域との連携を図っていくための教員の配置も考えていかなければならないと考えております。

【井上委員長】 項目自体は案のとおりでよろしいですか。

【中岡委員】 はい。

【平田委員】 大綱案を読ませていただいて本当に宗像市の教育の姿と方向性が力強く謳われていると感じました。危機管理体制の徹底を謳う必要があるのではないかと思いますでしたが、いかがでしょうか。

【井上委員長】 どの項目ですか。

【平田委員】 項目はありませんが、今、時代の中で、いじめ問題やいろいろな事故などがあっています。そのような中で、危機管理という言葉が全く出てこないのはいかがなものかと思いまし

た。

【教育政策課長】 ごもっともなご意見ですので、項目も含めて検討させていただきます。

【井上委員長】 「(1) 信頼される学校づくりの推進」のどこかに入ると思います。

【川上委員】 第1章で、大学までのつながりがないという意見を昨年申し上げさせていただきました。今回は大学が入っており、やはり宗像市の特徴として大学が3つあることを含めての見通しが盛り込まれたのは大変良かったと思います。細かい内容につきましては、施政方針案について協議する際に意見を言わせていただきたいと思います。

【井上委員長】 今年度は大学との連携が非常に進んできておりますので、今回、保・幼・小・中・高・大までの接続について明記されたのは大変良かったと思います。

【平田委員】 大学までの接続について、昨年の説明では、大学連携は市長部局である市民活動交流室の所管で、教育委員会が所管するのは高校までだとのことでした。その点についてはどのように考えたらよろしいのでしょうか。

【教育政策課長】 昨年の説明では、大学も含めた産学官連携の取組みを市としてこれまで継続して行ってきたことを基本として説明させていただきました。教育委員会として踏み込んだ部分まで具体的な話としてなかったのですが、来年度につきましては、学校教育も含めてつながりを作っていく意味で一歩進んだところがあるとうご理解いただければと思います。

【井上委員長】 先日開催された宗像地区教育事務連絡協議会の会議で福岡教育大学との連携についての報告がありました。

【久芳教育長】 委員長以外の委員は参加されていませんので、簡単にご説明いたします。これまでの大学連携は、学校と大学の個々のやり取りの中で協力関係を結んでいました。今年度からは、実際に一歩踏み出したのですが、きちんとシステムの中に位置づけて共同研究を進めていこうと考えています。具体的には、宗像市、福津市、福岡教育大学が相互に予算措置を行い、来年度の1つの大きな目玉として、きちんとした研究体制を作ろうというものです。行政レベルでできたということで、今回、大学を大綱に入れさせていただきました。

【井上委員長】 大綱案についてはよろしいですか。

【各委員】 はい。

【井上委員長】 資料4についてご意見等がございますか。13番の学校情報化事業の予算が減ったのはどうしてですか。

【教育政策課長】 先生方が使用しているパソコンのリース契約が終了したことによるものです。その後は、リース契約を更新せずにパソコン教室の余剰パソコンをまわしています。

【平田委員】 来年度は電子黒板を増やし、それに伴ってICT支援員も増員になるのではないかと思います。全体として予算が増えることになりませんか。

【教育政策課長】 電子黒板とICT支援員に関する予算は、20番の学校情報化モデル検証事業で

計上しています。ICT支援員については来年度2人増員する予定です。

【井上委員長】 18番の学校教育振興事務の予算が約2,350万円減額した理由は何ですか。

【教育政策課長】 新学習指導要領の施行に伴う武道具の購入費が減っています。

【井上委員長】 22番の学校施設管理事業について、来年度の対象校はどこですか。

【学校管理課長】 今年度は吉武小学校と東郷小学校の第1期大規模改造工事を実施しました。来年度は、東郷小学校の第2期工事、南郷小学校の第1期工事、赤間小学校の第1期工事を行います。また、吉武小学校、東郷小学校、南郷小学校、赤間西小学校の4校に太陽光発電システムを設置する予定です。

【井上委員長】 来年度に第1期の工事を実施する学校は再来年度に第2期の工事を行うことになるのですか。今年度、吉武小学校で第1期の工事を行っていますが、吉武小学校の工事は1期で終わるのですか。

【学校管理課長】 はい、そうです。

【川上委員】 補修工事を行う順番は、学校の耐用年数等で決まるのですか。

【学校管理課長】 学校施設改修については長期計画を作成しております。新築から約50年で建替え、約30年で大規模改造を基本としております。

【中岡委員】 37番の中学生宿泊学習事業の予算が3分の1程度に減っているのはどうしてですか。

【教育政策課長】 本事業については、当初予算額を確保して学校にも利用案内をしてきましたが、取組みを行う学校が少ないため、来年度は実績に応じた額を計上しています。

【教育部長】 市内の宿泊施設を利用した場合に限定しているため、利用する学校が限られています。

【井上委員長】 40番の地域青少年育成事業の予算が増えている理由は何ですか。

【子ども育成課長】 本事業につきましては、昨年度は予算要求概要にお示ししておりませんが、青少年健全育成関係団体を対象とした講演会、PTA、家庭教育学級に関する事業が教育委員会の所管になります。係庶務等を再編成したことに伴って予算の組み直しを行ったために、予算額が増額となっております。

【川上委員】 30番の学校給食管理運営事業の予算が約630万円増えているのはどうしてですか。

【学校管理課長】 30番の学校給食管理運営事業については29番の学校給食施設更新事業と関連しています。29番には年次更新計画に基づいた分を、30番には突発的な事故等による修理修繕費用を計上しておりましたが、事業査定の段階で内容の仕分けが非常に分かりづらいとの指摘を受けたことから、25年度は2つの事業を一本化しております。29番と30番の予算額を合計しますと、約200万円の増になります。これは、これまで学校施設の管理費として計上していた水道

代をこちらの事業に計上したことによるものです。

【井上委員長】 25年度から一本化したのに、資料で別々に記載されているのはなぜですか。

【学校管理課長】 24年度との比較がしやすいように分けて記載させていただきました。

【久芳教育長】 41番の青少年海外派遣事業の予算額が増えていますが、新たな企画があるのですか。

【子ども育成課長】 来年度も引き続き、ニュージーランドへの使節団派遣を小学校6年生も含めたところで実施したいと考えております。今回、予算が増額しておりますのは、昨年度プロポーザルを行った際に、燃油サーチャージの高騰により辞退する業者が多く、また、こちらが提示した15人程度という人数を下回った提案をされまして、実際のところ今年度も13人しか団員を派遣することができませんでした。事業効果を発揮するためには、一定の参加者が必要ということから、団員15人を派遣できる金額を計上したことに伴いまして総事業費が増額となっております。参加者の負担は約3割としており、今年度は90,000円でしたが、来年度は100,000円を負担いただくことになります。

【平田委員】 4番の学校適応指導教室運営事業の予算が減額しているのはどうしてですか。

【教育政策課長】 現在、適応指導教室には室長1人、指導員3人と青少年相談員が1人おりますが、子ども・家庭相談センター（仮称）の設置に伴いまして、来年度、青少年相談員をそちらに移管しますので事業費が減額しています。

【平田委員】 6番の心の相談事業の予算が増えている理由を教えてください。

【教育政策課主幹兼政策係長】 本事業には、心の教室相談員とスクールカウンセラーに関する予算を計上しています。これまで定例教育委員会等でご指摘がありましたように、臨床心理士等の有資格者を適応指導教室や小学校に派遣できるように予算措置したため増額となっております。

【平田委員】 15番の特別支援教育推進事業について、今右肩上がりに支援を要する子どもが増えていると思います。今年度も特別支援教育支援員を増やしている状況なのに、来年度の予算が減っているのはどうしてでしょうか。

【教育政策課長】 特別支援教育支援員については、来年度も今年度と同人数を確保できるよう予算計上しています。市の予算編成方針に基づき、事業費の3パーセントをシーリングする必要があるため、事業全体を見直して経費の削減を行った結果、約17万円の減額となっております。

【中岡委員】 55番の海洋性スポーツ普及調査研究事業で増えている約1,400万円は、ヨットの艇庫建設に係る費用ですか。現在、勝浦浜に艇庫がありませんか。

【市民活動推進課長】 現在、子どもたちが海洋性スポーツを通して海に親しむ機会を作ろうということで福津市と協議を進めております。勝浦浜にある勝浦漁港にコンテナを2基設置してOPヨットやカヌーを収納していますが、来年度、できましたら艇庫整備のための民有地を購入したいと思っております。今週地権者と協議を行いますが、そのあたりの条件が整ってまいりますと26年度に工

事を行うこととなります。来年度用地購入と実施設計を行い、26年度に艇庫の設置工事を行うよう、現在計画を進めています。福津市と半分ずつ費用を負担することにしてありますので、約1,400万円の支出を計上しますが、福津市が負担する半額については歳入予算にあげております。

【中岡委員】 新しく建てる艇庫の場所はどこですか。

【市民活動推進課長】 説明が分かりづらくなりますが、漁港に面する民有地は全て宗像市で、勝浦漁港は福津市となります。艇庫は宗像市の土地に新たに建てることとなります。

【中岡委員】 大島でもヨットやカヌー体験を漁港で行っていますが、関連はでてくるのですか。

【市民活動推進課長】 うみんぐ大島で実施しているシーカヤック、ろこぎ、磯遊びなどのメニューは観光サイドのプログラムですが、こちらで考えておりますのは、教育プログラムとして芸術鑑賞と同じような形で、子どもたちが半日程度ヨットやカヌーを通じて海に親しむ機会を作りたいというものです。現在、方針案を検討しているところですので、内容が固まりましたら報告させていただきたいと思います。

【中岡委員】 宗像市にとって海との関係は大事な部分だと思いますので、そのような進め方は非常に良いと思います。B&Gやヨット協会との関連もあるのですか。

【市民活動推進課長】 B&Gからは艇庫を整備する中で補助金をいただきたいということで、補助制度はありませんが、特別枠をお願いできないかというお話をしているところです。子どもの指導につきましても、実際に今でもB&Gの海洋クラブを中心として勝浦浜で行っていただいております。また、市役所の職員らで構成するB&Gの指導者会には、研修を受けた職員が何人かおりますので、そのあたりと一体となって指導体制を組んでいきたいと考えています。

【井上委員長】 51番の体育施設改修事業は、1ヶ所ではなく複数と考えてよいですか。

【市民活動推進課長】 自由ヶ丘中学校のナイター、B&G海洋センターの耐震も含めた大規模改修が主なものです。

【川上委員】 新規事業として52番と68番に市制10周年記念事業があがっていますが、52番の大島マラソンは昨年度、今年度を実施されていませんか。68番については初めての取組みだと思いますので説明していただけますか。

【市民活動推進課長】 マラソンにつきまして、今年度実施した内容は10キロのコースで三百数十人の参加でしたが、来年度はTVQと組みまして、約2,000人規模のハーフマラソンができないかと考えています。フェリーとしおかせだけでは、最大でも1,500人から1,600人くらいまでしか乗船できませんので、代船の手配が必要条件となります。まだ手配できていないことから、場合によっては規模を縮小する可能性があります。ハーフマラソンですと、規模やスケールがこれまで実施したものと比べて非常に大きくなります。68番に記載しております音楽祭につきましては、ユリックスの25周年事業とあわせまして、10月12、13、14日の合計3日間で、音楽を通してコミュニケーションを図ったり音楽をもっと好きになったりするような象徴的な事業に

していきたいと思っています。メイン会場としてユリックスの芝生広場を考えておりますが、3ヘクタールございますので、5,000人規模の野外コンサートが開催できます。九響とミュージシャンのどなたかを呼ぶような形で、市民に楽しんでいただけるような企画を考えております。ユリックスとしまして、芝生広場での野外コンサートは行ったことがありませんので、新たな魅力づくりとしての試みになると思っております。

【川上委員】 楽しみにしています。

## 8 報告事項

### ① 行政報告（資料5）

【久芳教育長】 11月20日の定例教育委員会以降の主な事からについてお話をさせていただきます。11月27日に県知事ふるさと訪問ということで、小川知事が本市を訪問されています。河東西小学校を見ていただき、子どもたちと一緒に学校給食を食べていただきました。11月28日に福岡教育大学との懇談会に出席しました。福岡教育大学の他に、福岡教育大学と連携しております福岡県、両政令市、久留米市、春日市、福津市、宗像市、久山町から参加がありました。その中で先ほどお話をいたしました共同研究プロジェクトが少し話題になっております。11月30日から市議会が始まりまして、一般質問では、北崎議員、伊達議員、杉下議員、花田鷹人議員から教育問題についての質問がっております。特に12月13日の予算特別委員会におきまして、赤間小学校にプレハブ校舎を増築するための補正予算をお願いしていたところ、学校規模の問題から今後の収容計画について議論されております。その中では、通学区の見直しを行ったかどうかという意見も出されました。昨日、福岡教育事務所管内の教育長会が開かれました。今回教育事務所の所長人事がございまして、平山前所長が大木町の教育長に就任されております。後任として福岡県教育センターの福田さんが所長になっております。内容としましては、人事異動に関する説明が主でございましたので、特に報告することはございません。

### ② 後援報告（資料6） 議事録なし。

### ③ 平成24年度小中一貫教育中期部スピーチコンテストの実施について（資料7）

【正路指導主事】 資料7参照。議事録なし。（▲4分18秒）

【井上委員長】 初めての試みですが、青少年海外派遣事業に参加した生徒が応募するなど、つながりが出てくれば良いと思います。

【久芳教育長】 予算のいらない範囲で今年度は取りあえず試行しまして、来年度きちんと中身を組み立てていきたいと考えています。子ども部でもイングリッシュキャンプを実施していますが、今後、グローバル人材の育成に向けて、英語というのが大きなツールになると思いますので、子ど

もたちの力を伸ばしていくような施策ができればと思っています。

【川上委員】 今回、小中合同で行われるのですが、よく見ると小学生がスピーチした後に審査があって、中学生は次の時間帯で実施するというプログラムになっています。小学生が中学生のスピーチを聞いたり、逆に中学生が小学生のスピーチを聞いたりすることは考えられているのでしょうか。

【正路指導主事】 はい。小中合同のプログラムということで、小学生に中学校のお兄さん、お姉さんの英語スピーチを聞いてもらったり、中学生に後輩がどのようなスピーチをしているのかを聞いてもらったりして、小中交流の場にもしたいと考えています。

【川上委員】 学校に周知される際は、小中学生ともに同じ時間帯に来ていただくということで話をされるのですか。

【正路指導主事】 はい。パンフレットに記載したいと思います。

【井上委員長】 時間にずれが出ないように、はっきりさせておいた方が良いでしょう。

【川上委員】 そのような趣旨もあるということで、学校に伝えていただけたら良いのではないかと思います。

#### ④ 宗像市立玄海小学校新設プールの整備計画変更について（資料8）

【学校管理課長】 資料8参照。議事録なし。（▲6分30秒）

#### ⑤ 12月学校の日（資料9）

【久芳教育長】 東郷小学校を訪問しました。ちょうど学級活動が行われておりましたけれど、印象に残りましたのは、2年生の話し合い活動において、いろいろな発表がある中で、2年生とはいえ、人を気づかしたような発言、人に対する思いやりのある発言が出ておまして、とても良いと思いました。学級活動では、学校での普段の子どもたちの姿がよく見えますので、そのような意味では、東郷小学校の取組みの良さを感じさせていただきました。また、短い休み時間に校長室で音読の検定を行っていましたが、子どもたちはきちんと並んで、実に礼儀正しく挑戦をしておりました。校長先生の本当のねらいは、校長室に入るときから退出までの礼儀を学ぶことで、教育はしつけであるという校長先生の細やかな実践を見ることができました。

【川上委員】 赤間小学校、吉武小学校、赤間西小学校の3校を訪問しました。赤間小学校では、約4分の1のクラスで2時間目に学級活動の公開授業が行われていました。4年生、5年生ではたばこ、6年生では飲酒について学習していました。少し話を聞いていましたら、お父さんが酔っ払った話などを交えてどのようになるのかを取り上げられていたので、すごく早い時期から取り組まれているのだと思い、びっくりしました。大変寒い日でしたが、健康に気をつけられているためでしょうか、ストーブを廊下に出して、ストーブがない状態で子どもたちが授業を受けて



いる学級もありました。子どもたちはとても元気で、そんなに寒そうにもしていませんでしたので、すごいと思いました。休み時間には、子どもたちが勢いよく校庭に飛び出しており、赤間小学校の子どもたちは心身ともに元気に育っているという印象を受けました。吉武小学校は改修されていて、非常に校舎が明るくなっていました。白木がたくさん使われており、ぬくもりのある内装に変わっていましたので、気持ちがとても明るくなって、子どもたちも毎日登校してくるのが楽しみになっているようだと言われました。ここでは3時間目に全学年で学級活動の公開授業が行われていました。少ない人数での話し合いのため、活気には欠けませんが、1人1人の発言を最後まで子どもたち全員が聞き取ることができており、それに答えてまた発言をするなど、本当にいいねいに学級活動が進められている様子がうかがえました。赤間西小学校には5時間目に行きましたが、3年生が話し合い活動をしておりました。片方のクラスでは先生がほとんど介入せずに、議長がきちんと議事を進めていて、反対意見、賛成意見の両方が出て、話し合いが大変白熱していました。もう片方のクラスでは、先生が話し合いの進め方を提案されたり、子どもたちの意見の食い違い等を修正していらっしゃったりする場面が見受けられましたが、3年生でここまでできるというのは、やはり素晴らしいことだと思います。

【平田委員】 河東中学校、玄海小学校、玄海東小学校、玄海中学校、南郷小学校を訪問しました。河東中学校では、3年生がクラスマッチをしており、とても大きな声が聞こえておりました。1、2年生の授業を見せていただきましたが、少し集中に欠けている気がいたしました。見ておりますと、先生方に何となく笑顔や活気が少ないと感じました。それが子どもの姿に表れているのかもしれないと思いました。現在、不登校生徒が3年生に1人と2年生に2人ほどいるようです。玄海小学校には授業案内の資料が用意されていませんでした。各教室とも絵などの掲示がとても素晴らしく、また、落ち着いた授業風景で、子どもたちの声もよく聞こえました。5年生か4年生のクラスで、電子黒板を使って算数の授業が行われていましたが、子どもたちがとても集中していて、「わあっ」という歓声をあげる姿も見られて、とてもほほえましく感じました。その一方で、もう少し子どもの出番を作るような授業を行っていただきたいと思いました。玄海東小学校では、入ったとたんに玄関に子どもの様子を写したビデオが流れていたり、階段などいろいろなところに子どもの作品が掲示されていたりして、とても素晴らしいと思いました。日ごろの子どもたちの姿がよく見えました。子どもたちもとても落ち着いており、5、6年生も非常に集中して授業に取り組んでいました。しっかり考えて発表している姿がとても素晴らしいと思って帰りました。玄海中学校は、各クラスに気になる生徒はいるものの、少し落ち着いてきたように感じました。授業中に私語をしているので、先生の話聞いていないのかなと思うと、ちかすような言葉の中に、「先生、太陽の温度がなんでそれで測れるん」など、授業に関連した質問が入っているなど、授業に参加している生徒の姿勢が見られて、やはり以前とは違うと思いました。生徒会役員の選挙のポスターが貼っていましたが、学校に対する生徒の熱い思いが感じられて嬉しか

ったです。南郷小学校は隅々まで掃除が行き届いていて、校舎に入ったとたん清らかな感じがしました。学級活動の公開授業が行われていましたが、低学年の子どもはとても元気でした。高学年は少し声が小さいと思いました。6年生の学級活動を見て、もう少しできるのではないかと思います。4年生のクラスでは、正しい姿勢というところで学級活動をしていました。足をつけてイスに深く座り、その次に「背筋を伸ばす」と子どもが言った際に、「背中を伸ばす」と書かれた紙を用意していた先生が、そのまま「背中を伸ばす」と書いていました。どう考えても「背筋を伸ばす」の方が正しいと思いましたので、「背中を伸ばす」を退けて「背筋を伸ばす」と訂正する勇気が先生にもあってほしいと思いました。各学年とも、2学年ごとに持久走があっていて、寒い中一生懸命がんばっている姿がほほえましかったです。

【中岡委員】 赤間小学校、東郷小学校、河東中学校、自由ヶ丘中学校を訪問しました。他の委員と重複している部分がありますので、特に気づいた点だけを報告します。赤間小学校では、出会う子どもたちが大きな声、そして笑顔でしっかりとあいさつをしてくれました。1年生の移動教室だと思いますが、手をつないで仲良く歩いている姿が非常にほほえましかったです。教室環境については、以前は子どもたちの作品や現在進行形で進んでいる学習内容等の掲示物が非常にたくさん貼ってありましたが、今は特に前面黒板の周辺が必要最小限の簡潔ですっきりした掲示になっていました。子どもたちが黒板に集中して授業を受けることができるのではないかと感じました。東郷小学校では、学級活動が行われていましたが、全校で学習形態をそろえて統一した指導がなされていると思いました。子ども主体の話し合い活動をしっかりと進めているという印象を強く持ちました。学びのしかけ、めあてのある掲示がされており、掲示の工夫が非常に素晴らしいと思ったところです。河東中学校では、3年生がクラスマッチをしていましたので、1年生の授業を参観しました。学習態度はおおむね問題なかったのですが、もう少し発言するなど、活発であっても良いのではないかと感じました。自由ヶ丘中学校では、3年生のクラスで面接に関する学級活動が行われていました。目指す高校の入試対策として、また、入試に向かって子どもたちの意識を高める効果的な内容になっていたのではないかと思います。非常に意欲的に取り組んでいる生徒の姿が見受けられました。校内も非常にすっきりとして落ち着いた雰囲気でした。

【井上委員長】 南郷小学校、自由ヶ丘中学校、中央中学校を訪問しました。南郷小学校では、内田校長の案内で、すべての学年で非常に落ち着いた授業風景を見せていただきました。朝の掃除が非常に徹底されていて、大変気持ちよく参観ができました。1、2年生の持久走大会が2校時に予定されておりまして、非常に寒い中、多くの保護者が運動場に集まっておられました。学校に期待する気持ちが非常に大きいと強く感じました。3年生以上は、校外への持久走ということで、地域の方の支援に対して校長先生が大変感謝しておられました。自由ヶ丘中学校では、田中校長が理科の授業を担当されていてお話を聞くことができませんでしたが、ゆっくり授業参観することができました。校長先生が授業をされているクラスで、1人の男子生徒に感想を聞いてみましたら、「べ

ーリーグッド」と言っていました。1年生は技術で木材加工の実習をしていましたが、大変良い授業でした。例えば、工具の使い方などを生徒はしっかり理解していました。無茶苦茶な使い方をしている光景をよく見かけますが、ここでは、のこぎりやかんな等について非常に安全を考えた授業がなされており、子どもたちもきちんと実習をしていました。2年生の社会科の授業では、先生の独壇場で生徒の活躍の場がありませんでしたので、もう少し授業の工夫をしていただきたいと感じました。中央中学校では、下山校長から明るいニュースをお聞きしました。1つ目は東郷地区コミュニティ・センターの大掃除に、3年生のボランティア活動隊16人が参加して、トイレ掃除、エアコン掃除、換気扇の着脱など率先して活躍されて、役員さんから感謝と称賛の言葉をいただいたというお話で、2つ目はバレーボール部が大島中学校と連携して県大会に進むことになったというお話でした。校長先生が満面笑みを浮かべて嬉しそうにお話をされておりましたのが印象的でした。

#### ⑥その他

【図書課長】 51ページをご覧ください。自由ヶ丘地区コミュニティ・センター改修工事に伴い、事務室の移転作業が行われるため、平成25年1月16日から1月21日、および3月25日から4月1日まで臨時休館となることから、図書館業務を停止いたします。市民への周知につきましては、市民図書館のホームページ、ポスター等で行う予定です。

【郷土文化学習交流課長】 お手元にチラシを配らせていただいております。海の道むなかた館迎春ごあいさつということで、海の道むなかた館は1月1日から3日にかけてオープンいたします。周知も含めまして、新春だよりというチラシを作成して、1月1日号の広報紙に差し込んで全世界に配布する予定です。併せて、新聞各社の新春号に広告を掲載するとともに、各コミュニティ・センターにチラシ配布を依頼するなど周知に努めます。1日から3日にかけて催されるイベントのほか、1月1日から6日にかけて、福岡県小学児童絵画展に入選した宗像地区の子どもたちの作品約300点を展示します。お正月の遊び体験や、だぶ汁、ぜんざいのふるまいもありますので、是非来館いただきたいと思います。チラシの裏面には、1月の行事予定を載せております。1月16日から4月21日まで、「なつかしの暮らし展」を開催して、宗像の「まち」「農村」「漁村」「島」の暮らしをテーマに、当時の生活道具やなつかしい風景の写真を展示することになっています。1月18日にはミュージアムコンサートとして、展示室で琴と尺八の演奏を行います。午後6時と午後7時30分の2部構成とする予定です。チラシに盛り込むことができませんでしたが、1月1日から3日にかけて、西谷館長によるギャラリートークを午後2時から行う予定にしております。なお、1月1日から14日まで、アンティークのオルゴールを配置いたしまして、新春の調べを楽しんでいただくことにしています。

【子ども育成課長】 先ほどチラシを配らせていただいております。第13回目となります「わくわく体験報告会」を1月19日土曜日午後1時にメイトム宗像多目的ホールにて行います。宗像市子ども基

本条例の中でも、子どもの意見表明の機会の提供に努めるよう定められていますが、発表の場として体験報告会を開催いたします。裏面に内容を載せておりますが、2部構成としております。第1部では、福岡教育大学名誉教授横山正幸さんを講師に招いて、「今、なぜ体験活動か」という演題で基調講演をしていただきます。横山先生には、次世代育成支援対策審議会の会長として、子ども基本条例の策定に関わっていただきました。基調講演の後、第2部で、子どもまつり子ども実行委員会をはじめとした5団体の子どもたちから報告発表をしていただきます。会場では各地区のコミュニティ運営協議会での子どもを対象にした体験活動のパネル展示を行うことで、地域での取組みの活性化も図っていきたいと考えております。

【井上委員長】 他になければ、次回の定例教育委員会は1月22日（火）の午前9時30分から301会議室にて開催します。本日は長時間ありがとうございました。

次回開催予定日 1月22日（水）午前9時30分開始

平成25年 1月22日

井上 裕之

川上 美子